

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業431社を対象に実施し、395社より回答があり、その結果をまとめたものである。□

企業の調査資料として、平成19年10月～12月の実績、平成20年1月～3月の見込み、平成20年4月～6月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成19年12月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	202□	187□	92.6%
非 製 造 業	229□	208□	90.8%
計	431	395	91.6%

日銀が2月18日に公表した、金融経済月報（2008年2月）によると、現状の景気判断は、「わが国の景気は、住宅投資の落込みなどから減速しているとみられるが、基調としては、穏やかに拡大している。」としている。

先行きについては、「当面減速するものの、その後穏やかな拡大を続けると見られる。」としている。

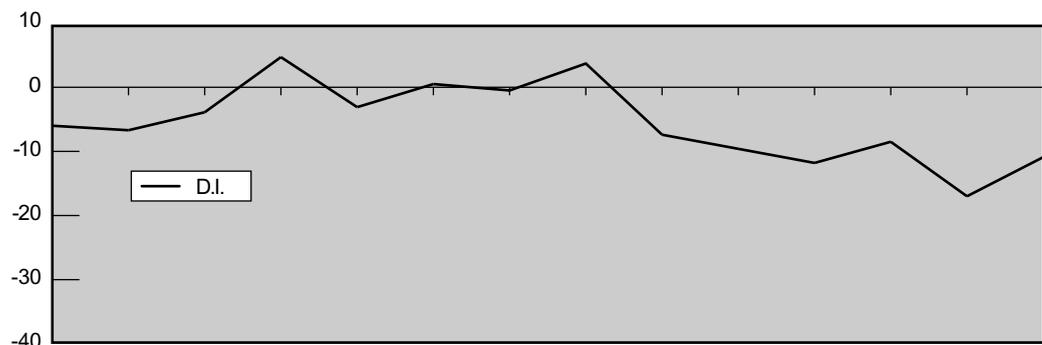
「輸出は海外経済が減速しつつも拡大するもとの、増加を続けていくとみられる。また、設備投資や個人消費も、総じて高水準の企業収益や雇用所得の穏やかな増加を背景に、増加基調をたどる可能性が高い。住宅投資は、当面低調に推移するものの、次第に回復に向かうと予想される。」との先行き見解となっている。□

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年				18 年				19 年				20年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良 い	19.7□	17.7	17.7	22.2	19.1	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	10.3	11.4
普 通	54.6□	57.9	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	62.4	66.3
悪 い	25.7□	24.4	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	27.3	22.3
D. I.	-6.0	-6.7	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-17.0	-10.9

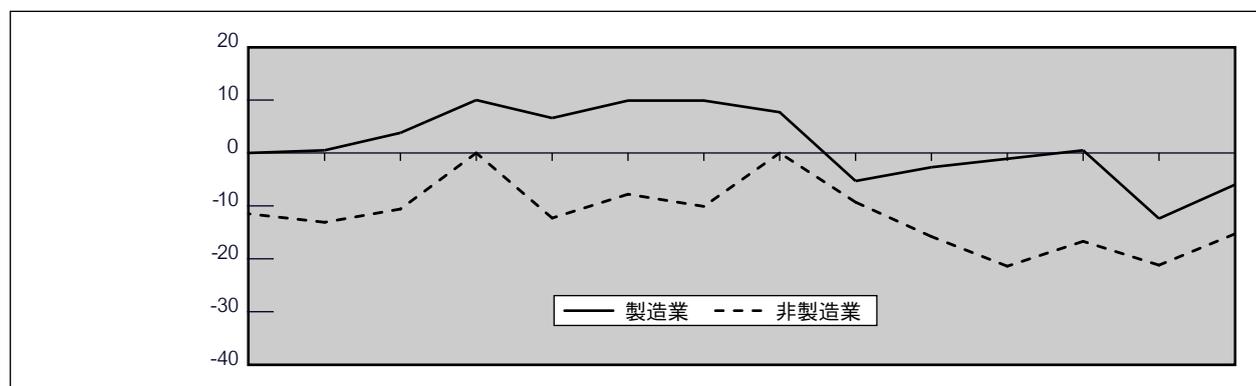


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		（%）												見込	予測
		17 年				18 年				19 年				20年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	22.6	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	11.9	12.0
普	通	54.9	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	63.8	70.1
悪	い	22.6	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	24.3	17.9
D. I.		0.0	0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-12.4	-6.0

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		（%）												見込	予測
		17 年				18 年				19 年				20年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	17.1	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	8.9	10.9
普	通	54.4	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	61.1	62.9
悪	い	28.6	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	30.0	26.2
D. I.		-11.5	-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-21.2	-15.3



(1) こうした全国の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の、19年10～12月期実績は▲8.5と前期比3.3ポイント改善した。

先行きについて、20年1～3月期のD.I.は、前期比8.5ポイント悪化する見込となっている。しかし、4月～6月の予想では、D.I.はマイナスであるが、改善予測となっている。

(2) 業況判断指数D.I.の19年10～12月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より1.6ポイント改善となった。非製造業も前期より4.7ポイント改善している。先行きについてのD.I.は全業種で、悪化見込みであり、製造業については、今期プラスポイントとなったが、再びマイナスポイントの見込みとなっている。製造業の業況判断指数D.I.は、先行きの20年1～3月期見込を▲12.4と12.9ポイント悪化見込となっているが、20年4～6月期を▲6.0と改善予想をしている。非製造業の業況判断指数D.I.についても、20年1～3月期予想は▲21.2とマイナスと悪化見込であるが、20年4～6月期は改善見込となっている。